

平成29年度 学校評価の報告

校長 伊藤 民子

今年度の学校評価についてご報告いたします。本校の学校評価は、年度初めに学校経営計画の重点目標に示した項目を中心に振り返りを行っています。流れとしては次のようになります。

学校評価の流れ

- 4月 学校経営計画提示 → 第1回学校教育推進会議（7月実施）
- 5月 教育課程説明会（保護者向け）
- 10月～11月 教職員による自己評価 I
- 12月 学校アンケート実施（保護者、学校教育推進会議の方々）
- 1月～2月 教職員による自己評価 II
- 2月 第2回学校教育推進会議
- 3月 学校評価結果の報告及び公表

I 自己評価について

<教職員>

- 年度初めに、教職員全体で、学校経営の基本的な考え方と本年度の学校経営方針の5つの柱について、学校の現状分析を行い、重点目標の確認と取組について話し合いました。
- 10月に、前期の取組の成果と課題を出し合い、後期にむけての具体的な改善（Action）を話し合いました。
- 12月～1月に今年度の取組について振り返り、平成30年度に向けて中原中としての重点目標を出し合いました。

<生徒>

- 12月にアンケートを取り学級ごとに話し合ったものを学級委員がまとめ、1月の評議会で報告しました。
1月30日に1・2年生の生徒代表と校長が懇談会をもち、中原中学校の現状等について意見交換を行いました。あいさつ運動についての意見交換の時間を多く持ちました。生徒たちが一生懸命考えていたことが印象的でした。
- 2月に行われた学校教育推進会議に、代表生徒12名（生徒会本部役員と1・2学年から代表生徒）が出席し、今年度の生徒会活動について報告しました。



<保護者>

- 授業参観や行事で来校された際に、記述式のアンケートをその都度とらせていただき、いただいた感想や意見は、教職員で情報を共有し次の活動に生かしました。
- 12月末に記述式のアンケートを実施し、たくさんの保護者の方からご回答をいただきました。
(行事、授業や評価、部活動、その他について成果と課題、来年度への要望)
- 保護者のみなさんからのご意見については、PTA実行委員会でも話し合っていました。その中で標準服のセーターの着用や靴下についてご意見をいただきました。



II 学校教育推進会議2回開催（7月7日と2月9日に実施）

(1) 第1回学校教育推進会議

今年度の学校経営計画に基づく説明と具体的な取組について説明させていただき、その後生徒会本部役員の生徒から生徒会の今年度の活動について紹介がありました。その後、4つのグループに分かれて、「学校・保護者・地域の方々がいっしょになって、何かできそうか」を短い時間でしたが活発に意見交換をしました。生徒たちは、昨年ごちそうになったさつまいもの天ぷらの味が忘れられなかったらしく料理や芋ほり、さらには文化教室の拡大、地域清掃等々、さまざまな意見が出てとても有意義な時間となりました。

(2) 第2回学校教育推進会議

今年度の学校評価の自己評価の部分（教職員、生徒、保護者）の内容を提示し、ご意見を伺いました。最初に、今年度の学校評価の結果を説明させていただきました。評価の中で、「あいさつ」について以前よりも元気がないのではないかというご指摘を多くいただきました。そのことについて「あいさつ強化週間」についてアンケート結果から本校の実態が見えてきたこともあり、話し合いが活発に行われました。あいさつについては身近な問題として共通意識をもって話し合うことができました。

III 今年度の学校評価の具体的な内容と来年度に向けて

今年度の「学校経営の基本的な考え方」と「本年度の学校経営方針」について振り返りを行った内容(抜粋)を掲載します。

【学校経営の基本的な考え方】

1 「中原中学校は生徒の学びを大切にします」について



<○成果と●課題>

- 生徒一人ひとりの学習の進捗を把握しながら、できる限りの支援ができています。
- 生徒の学びは授業が基盤であり、よりわかる授業にするため、生徒の実態も含めた教材研究を行っています。授業前に教室に行き、授業後、次時が空きの場合、学年の階に残り、次の授業の開始を確認してから戻ることが定着しています。
- 一人ひとりの生徒を大切にしようとしているが、一斉授業では全員に指導が徹底しないこともあります。 → 少人数授業やチームティーチング、学び合いによる授業法の研究等々をさらに推進していきたいと思っています。

<今後に向けて>

- ・日頃の授業の質を高めるために、研修の充実や教員同士の授業研究等を積極的に行います。
- ・生徒の良いところを見つけて評価してあげることにより、自己肯定感を育てる手立てを工夫していきたいと思っています。

2 「中原中学校は生徒一人ひとりを大切にします」について

<○成果と●課題>

- 一人一人にきめ細やかな指導を心がけるようにしており、教育相談活動を充実させました。
- 授業中、休み時間、部活動などのあらゆる場面での生徒の様子を学年の枠をこえて共有するよう心がけました。その結果生徒理解が深まったと思います。
- 職員と生徒、生徒同士が心の通う学校づくりという視点では、もう少し生徒と向き合う時間を確保していきたいと感じています。 → 教職員のあいさつ運動週間の実施や教育相談の充実等、来年度に向けて検討していきたいと考えています。

<今後に向けて>

- ・中原中の良き伝統である「あいさつ」について、少し低迷しているのではないかというご指摘を伺います。そのことをしっかり受け止めさらに活性化を目指して取り組みます。

- ・不登校生徒への働きかけと情報の共有については、今後もねばり強く、いねいに進めていきたいと思いをします。

3 「中原中学校はいつでもどこでもだれとでもつながりを大切にします」について

<○成果と●課題>

- これまでのつながりをベースに地域行事に積極的参加する等、大切な活動として位置づけています。子育てサロン、文化教室など子どもたち自身も地域に支えられて学校生活をおくることができていると感じられているように思います。
- 課題を抱える生徒に対して、教室の前の掲示物は最小限、シンプルに装飾ではない等、一人ひとりのニーズに合わせた指導をしようと心がけました。
- 学年間を越えたつながりがあまり見られないように感じています。 → 部活動や各種委員会等での活動等での工夫改善が必要です。

<今後に向けて>

- ・これまでも取り組んでいますが、さらに生徒一人ひとりが所属感の高まる活動を増やすように心がけたいと考えています。

【本年度の学校経営方針】

5項目の具体的な方策とそれに対する今年度の目標について、達成できたかどうかを振り返りました。

1 主体的に学習に取り組む態度を育てます

<○成果と●課題>

- 授業の中で4人でのグループワークや生徒から出た考えを発展させること等を取り入れることによって生徒同士の学び合いの時間や主体性に学習する姿勢がみられるようになりました。
- 日常生活で困っている生徒、学習に課題のある生徒について、放課後の学習等を活用し、ていねいな支援をすることができました。
- 授業力の向上を目指して授業研究にさらに力を入れたいと考えています。

2 「こころ」「いのち」を大切にします

<○成果と●課題>

- 道徳の研究推進校として本発表をする中で、教員一人ひとりが授業の準備のための話し合いをする中で生徒と向き合いながら授業できるようになりました。
- 道徳の授業をしっかりと実施することによって、生徒が友だちの意見を聞きそして議論できるような成長を実感することができました。
- 中原中の良き伝統である「あいさつ」について、少し低迷しているのではないかというご指摘を伺います。そのことをしっかりと受け止めさらに活性化を目指して取り組みます。

3 「信頼される学校」を目指します

<○成果と●課題>

- 学級や学校での様子を正確に伝えることを心がけました。(学級だより、学年だより等の定期的な発行等々)
- 保護者と連絡を密にとるなど、情報交換を欠かさず、迅速な対応を心がけました。
- 地域の方々にたくさんお世話になって行っている行事について、生徒がもう少し積極的ににかかわることができるようにしたいと思います。

4 自分の意見をしっかり表現できる生徒を目指します

<○成果と●課題>

- 教科の中で少人数での活動を増やしたことで、表現する機会が増えました。少しずつですが、話すことに対して自信が持てるようになったと感じています。

○まず話をよく聞き、受け止め、共感することを心がけました。そうすることによって生徒が安心して心を開いて話すようになりました。

●自己有用感や帰属感をさらに高めるために、自主的に参加しようとする姿勢を身につけたり、全員が発言しやすい雰囲気作りに努めたりしていききたいと考えています。

5 「安全」「安心」な環境を整備します

<○成果と●課題>

○担任を中心として教室の環境整備を行い、教室や廊下での過ごし方についてしっかりと指導を徹底しました。学習に適した環境を整えることに努めました。

○校庭や体育館等の施設は日々安全点検することを心がけ、さらに安心できる環境にするために、教育相談等で生徒の話に耳を傾けるようにしました。

●生徒の目線で考える環境整備について全教職員で話し合っていきたいと考えています。

【平成 30 年度に向けて】

学校教育推進会議等でご意見をいただいたことを参考に平成 30 年度に向けて次の 5 項目を掲げました。今後さらに検討をしながら学校経営計画に生かしていこうと考えています。

1 元気にあいさつのできる生徒の育成

・定期的なあいさつ運動や生徒たちの意識改革等、まだまだできることはたくさんあると思います。今年度末に若い先生たちを中心に取組んだ「大きな声で」「目を見て」「誰にでも」あいさつのできる生徒を目指した取組は、今年度で終わりになるのではなく今後も継続していくことが大切です。中原中の生徒は気持ちの良いあいさつをしてくれるといわれるような学校をめざしたいと考えています。

2 不登校生徒を減らす

・学校に登校できない生徒の苦しみやその保護者の方の悩みを共有しながら、楽しい学校づくりを目指したいと思います。

3 わかる授業の実施

・「わかった」「できた」とだれもがその感動を味わうことが学ぶ意欲を高めることにつながると思います。その実現のために教員一人ひとりが授業力の向上を目指して日々研修・研究に取り組んでいきたいと考えています。

4 心の通い合う学校づくり

・小さな学校だからこその一人ひとりの生徒を理解してきめ細かな指導ができることが学校の強みになると思います。そのための具体的な取組を考えていきます。
・道徳の授業は、来年度県の道徳の研究大会の実施も予定されており研究は継続することになります。学校の教育活動の全体を通じて道徳的な心情、判断力、実践意欲などの道徳性を養うこととされているので、その授業研究を充実させることに力を入れたいと思います。

5 高い目標に向かって本気で挑戦できる生徒

・学校全体で生徒に関わり、見守ることが必要だと考えておりますが、小規模校な利点を生かして学年をこえた生徒とのかかわりがさらにできればと思います。そのことによって生徒が安心して自分の力を伸ばすことができます。
・自分で自分の限界を決めずに、高い目標に向かって本気で挑戦できる生徒を育てたいと思います。教員もいっしょになって生徒と共に汗をかき努力を認めほめる指導を心がけることによってあきらめない気持ちを育みたいと考えています。

今後も、地域の皆様に支えていただきながら学校経営を進めてまいりますのでご協力お願いいたします。